

お天気解説

アキラのズバッと

東京地方の気候変動シリーズ

“Now & Then”

桜の満開は

令和6年3月15日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

やっと春らしい天気となりましたね。先日、中央森林公園の桜の様子を見に行きましたが、開花にはまだ1週間はかかりそうな感じでした。気象庁では標本木を定め継続して観測しています。東京の標本木は靖国神社の境内にあり、その木に5～6輪以上の花が開いたら開花を発表します。8割以上の花を付けたとき、満開を発表します。



写真：船堀団地周辺の桜（区のHPより）

東京の桜満開の平年は3月31日です。開花の平年が24日なので、満開までだいたい1週間ぐらいかかる感じです。開花のころ暖かい日が続くと、満開も早いようです。北日本では開花から満開までの期間は東日本よりも短く、開花からあつという間に満開になることもあります。例えば、札幌では開花の翌日に満開になったこと（1977・2012年）もありました。東京でも、開花から僅か3日で満開となったこと（1964年）もありました。一方、1966年は16日もかかっています。

さて、桜の花の時期には「花曇り」「花冷え」など桜に因んだ天気という言葉があります。

「花曇り」は、桜の咲く頃の曇りのことをいいます。冬型の晴天が続いた天候は終わり、春は雨が降ったり晴れたりと周期変化になっています。高気圧が通り過ぎると高層雲（別名：おぼろ雲）が薄く空一面に広がってきます。その中で太陽がぼんやりと見える、ちょっと明るい曇り空です。咲いてきた桜を眺めながら、どんよりした空も春の近づいた証といった感じです。



写真：高層雲（おぼろ雲）

2024年03月15日11時 気象庁 発表				
日付	今日 15日(金)	明日 16日(土)	明後日 17日(日)	
東京地方	晴	晴	晴時々曇	
降水確率(%)	-/-/0	0/0/0	10	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (℃)	最高	17	19	21 (19~23)
	最低	-	7	9 (7~10)

東京地方の週間天気予報より 気象庁 HP 加工
(週末は暖かそうですが、春分の日の頃に寒気が南下するようなので体調に気を付けてください)

「花冷え」は、この時期に急に寒くなることをいいます。4月の強い寒の戻りのため、東京では4月17日に雪が降ったことがあり（1967・1969・2010年）、1969年は2cmの積雪を観測しています。花の付いた桜の枝に雪が積もって、春と冬が混ざったような不思議な光景でした。

江戸川区では区内の桜の開花状況や名所をホームページに掲載しているのでご活用ください。